

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月30日

上場取引所 札

上場会社名 株式会社SEメディアパートナーズ
 コード番号 2495 URL <http://www.semp.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月6日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 大林 浩
 (氏名) 富樫 憲太郎

TEL 03-3263-4666

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	822	332.5	△60	—	△59	—	△101	—
21年3月期第2四半期	190	—	△31	—	△31	—	△31	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△5,365.28	—
21年3月期第2四半期	△3,258.32	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	575	342	59.5	18,205.88
21年3月期	414	362	87.5	37,010.70

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 342百万円 21年3月期 362百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800	—	△50	—	△45	—	△90	—	△4,764.76

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	19,508株	21年3月期	9,788株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	704株	21年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	18,972株	21年3月期第2四半期	9,788株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、米国の金融危機に端を発した世界経済の混乱の影響による不況を脱することができず、企業収益、個人消費の低迷が続き厳しい展開となりました。当社が事業を展開しているインターネット広告市場につきましては、引き続き伸長しているものの、景気減速等の影響を受け前年よりも成長率が鈍化いたしました。

このような状況下で当社は、期首に株式会社モバイル・アフィリエイトを吸収合併し、合併により可能となったモバイル分野での事業展開を積極的に行ってまいりました。その結果、売上高は拡大し、822,089千円(前年同期比332.5%増)となりました。しかしながら利益面では、期首より進めていた不採算事業の改善が計画通りに進展せずに赤字を計上し続けたこと、及び当社の主力事業であるアフィリエイト事業と広告代理事業での価格競争の激化に起因する利益率の低下が予想以上のスピードで進展したことがあり、不採算事業の縮小や撤退及び販売費及び一般管理費の圧縮に努めたものの、営業利益を計上するには至りませんでした。また事業の集中と選択を進めるべく収益を圧迫していたソリューション事業からの撤退を行ったことにより、事業撤退損43,017千円を計上しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高822,089千円(前年同期比332.5%増)、営業損失60,684千円、経常損失59,066千円、四半期純損失101,794千円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状態は以下のとおりです。

①資産

当第2四半期会計期間末における流動資産は436,885千円(前事業年度末は279,756千円)となり、157,129千円増加しました。これは主として合併による売掛金の増加によるものであります。固定資産は138,629千円(前事業年度末は134,292千円)となり、4,337千円増加しました。これは主として合併による敷金の増加によるものであります。この結果、資産合計は575,515千円(前事業年度末は414,048千円)となり、161,466千円増加しました。

②負債

当第2四半期会計期間末における流動負債は224,738千円(前事業年度末は40,198千円)となり、184,540千円増加しました。これは主として合併による買掛金の増加によるものであります。固定負債は8,434千円(前事業年度末は11,590千円)となり、3,156千円減少しました。これは長期借入金の減少によるものであります。この結果、負債合計は233,172千円(前事業年度末は51,788千円)となり、181,384千円増加しました。

③純資産

当第2四半期会計期間末における純資産は、合併によるその他資本剰余金の増加と利益剰余金の減少により342,343千円(前事業年度末は362,260千円)となり、19,917千円減少しました。

(2) キャッシュ・フローの分析

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローについては、営業活動による11,474千円のプラス、投資活動による2,034千円のマイナス、財務活動による54,413千円のマイナスがあった結果、現金及び現金同等物は44,973千円のマイナスとなりました。また、平成21年4月1日付の株式会社モバイル・アフィリエイトとの合併により64,595千円の資金を受入れました。これらの結果、現金及び現金同等物の残高は、138,769千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、11,474千円のプラスとなりました。これは主として、売上債権の減少及び仕入債務の増加によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、2,034千円のマイナスとなりました。これは主として、固定資産の取得によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、54,413千円のマイナスとなりました。これは主として短期借入金の返済及び自己株式の取得によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期における業績の進捗状況等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成21年5月20日の決算発表時に公表した平成22年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成21年9月18日に開示致しました「業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事項等

当社は前々事業年度に101,154千円、前事業年度に115,725千円の営業損失を計上し、また営業キャッシュ・フローについても前々事業年度に110,184千円(注1)、前事業年度に31,229千円のマイナスとなっており、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象が生じております。

当該状況は、前々事業年度につきましてはライフスタイル事業等の不採算事業による赤字に起因するものであり、前事業年度につきましてはメディア事業においてサイトプロモーションコスト投資に対する回収が予定通りに進まなかったこと、及びソリューション事業での大幅な受注の減少により、販売費及び一般管理費に対する売上総利益の額が大幅に不足していたことが原因であります。

当社はこの課題を解決すべく、当社の約4倍の売上規模を持ち、継続的に営業利益を計上しているモバイル・アフィリエイトと平成21年4月1日をもって合併し、事業規模の拡大と事業再構築及び経営体制の刷新を行いました。当第2四半期累計期間については、この合併の効果により営業キャッシュ・フローはプラスに転じております。

しかしながら、期首より進めていた不採算事業の改善が計画通りに進展せず赤字を計上し続けたこと、及び当社の主力事業であるアフィリエイト事業および広告代理事業での価格競争の激化に起因する利益率の低下が予想以上のスピードで進展したことにより、依然として営業損失を計上しております。

今後はキャッシュフローの改善のみならず、営業損益の黒字化のため、第2四半期会計期間より取り組んでいる不採算事業の撤退・縮小及び全社的な業務合理化による販売管理費の削減に加え、各事業部門にて以下の施策を実施することにより収益性の改善を図って参ります。

a. アドネットワーク事業(注2)

- ①当社独占取扱広告及び媒体の獲得による売上規模の拡大
- ②モバイルアドネットワーク「MA I S T」のサービス開始による収益機会の増大
- ③売上原価の管理体制強化による収益性改善
- ④ローコストオペレーションによる販売管理費の抑制

b. 広告代理事業

- ①新規分野の広告主の開拓と営業展開強化による売上規模の拡大
- ②売上原価の管理体制強化による収益性改善
- ③自社メディアの継続的なスクラップアンドビルドによる収益力改善
- ④新規メディアサービス開始による売上規模の拡大

以上の施策を実施するとともに、親会社グループとの連携、協力のもと、事業成長と収益性の改善を進めてまいります。

なお当社といたしましては、上記施策を実施することにより、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象は解消していると判断しております。

(注1)前々事業年度は個別キャッシュ・フロー計算書を作成していないため、前々事業年度の営業キャッシュ・フローは連結ベースの数値にて記載しております。

(注2)平成21年10月より「アフィリエイト事業」を「アドネットワーク事業」に名称変更しております。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	138,769	120,150
売掛金	180,829	39,352
仕掛品	—	2,097
短期貸付金	100,100	100,000
その他	18,228	18,549
貸倒引当金	△1,041	△392
流動資産合計	436,885	279,756
固定資産		
有形固定資産	16,952	2,443
無形固定資産		
ソフトウェア	71,073	99,150
その他	501	72
無形固定資産合計	71,575	99,222
投資その他の資産		
その他	54,111	35,424
貸倒引当金	△4,009	△2,798
投資その他の資産合計	50,102	32,626
固定資産合計	138,629	134,292
資産合計	575,515	414,048
負債の部		
流動負債		
買掛金	174,238	6,602
1年内返済予定の長期借入金	6,312	6,312
未払法人税等	706	1,165
賞与引当金	7,160	—
契約取次促進費用引当金	8,949	3,730
本社移転損失引当金	—	557
その他	27,371	21,830
流動負債合計	224,738	40,198
固定負債		
長期借入金	8,434	11,590
固定負債合計	8,434	11,590
負債合計	233,172	51,788

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	350,000	350,000
資本剰余金	123,059	511,140
利益剰余金	△101,794	△486,854
自己株式	△21,257	—
株主資本合計	350,007	374,285
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△7,663	△12,024
評価・換算差額等合計	△7,663	△12,024
純資産合計	342,343	362,260
負債純資産合計	575,515	414,048

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	190,083	822,089
売上原価	145,000	718,829
売上総利益	45,082	103,260
販売費及び一般管理費	76,941	163,944
営業損失(△)	△31,858	△60,684
営業外収益		
受取利息	1,404	1,277
受取配当金	98	179
投資有価証券売却益	166	795
受取保険金	944	—
受取補償金	460	—
その他	5	10
営業外収益合計	3,078	2,262
営業外費用		
支払利息	411	164
投資有価証券売却損	1,863	479
本社移転費用	842	—
その他	1	1
営業外費用合計	3,118	645
経常損失(△)	△31,898	△59,066
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	640
特別利益合計	—	640
特別損失		
固定資産売却損	117	—
固定資産除却損	—	222
事業撤退損	—	43,017
特別損失合計	117	43,239
税引前四半期純損失(△)	△32,016	△101,666
法人税、住民税及び事業税	145	128
過年度法人税等	△269	—
法人税等合計	△124	128
四半期純損失(△)	△31,892	△101,794

【第2四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	84,694	421,073
売上原価	63,549	378,059
売上総利益	21,144	43,013
販売費及び一般管理費	39,701	75,804
営業損失(△)	△18,556	△32,791
営業外収益		
受取利息	888	564
投資有価証券売却益	—	795
受取保険金	944	—
受取補償金	460	—
その他	—	75
営業外収益合計	2,293	1,436
営業外費用		
支払利息	157	75
投資有価証券売却損	1,310	479
本社移転費用	97	—
その他	—	1
営業外費用合計	1,565	556
経常損失(△)	△17,829	△31,911
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	588
特別利益合計	—	588
特別損失		
固定資産売却損	117	—
事業撤退損	—	43,017
特別損失合計	117	43,017
税引前四半期純損失(△)	△17,947	△74,340
法人税、住民税及び事業税	72	73
過年度法人税等	△269	—
法人税等合計	△196	73
四半期純損失(△)	△17,750	△74,413

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△32,016	△101,666
減価償却費	7,441	22,893
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,017	△640
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	3,302
本社移転損失引当金の増減額	△4,248	△8,210
契約取次促進費用引当金の増減額	—	5,218
受取利息及び受取配当金	△1,502	△1,456
支払利息	411	164
固定資産除却損	—	222
有形固定資産売却損益(△は益)	117	—
投資有価証券売却益	△166	△795
投資有価証券売却損	1,863	479
事業撤退損	—	43,017
売上債権の増減額(△は増加)	21,795	16,523
たな卸資産の増減額(△は増加)	382	1,978
仕入債務の増減額(△は減少)	5,791	33,026
その他	△14,774	△1,883
小計	△12,886	12,173
利息及び配当金の受取額	2,648	2,393
利息の支払額	△358	△162
法人税等の還付額	269	28
法人税等の支払額	△290	△2,959
営業活動によるキャッシュ・フロー	△10,616	11,474
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	1,004
有形固定資産の取得による支出	△580	△8,731
無形固定資産の取得による支出	△24,630	△5,935
敷金及び保証金の差入による支出	△180	—
敷金及び保証金の回収による収入	11,309	—
投資有価証券の取得による支出	△25,600	—
投資有価証券の売却による収入	15,083	11,938
貸付けによる支出	△100,000	△100
その他	△798	△209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△125,396	△2,034
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△25,000	△30,000
長期借入金の返済による支出	△3,156	△3,156
自己株式の取得による支出	—	△21,257
財務活動によるキャッシュ・フロー	△28,156	△54,413

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△164,168	△44,973
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	64,595
現金及び現金同等物の期首残高	318,767	119,146
現金及び現金同等物の四半期末残高	154,598	138,769

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
該当事項なし

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位:千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前事業年度末	350,000	511,140	△486,854	-	374,285
当第2四半期累計期間末までの 変動額					
合併による増加		98,773			98,773
剰余金の処分		△486,854	486,854		-
四半期純損失			△101,794		△101,794
自己株式の取得				△21,257	△21,257
当第2四半期累計期間末までの 変動額合計	-	△388,080	385,059	△21,257	△24,278
当第2四半期累計期間末残高	350,000	123,059	△101,794	△21,257	350,007